

第4回臨時会

第4回定例会



～ノリの収穫(喜入中名町)～

寒さ本番！海の香りとどけます

公の施設の指定管理者指定議案可決 平成十六年度各会計決算を認定

〔第四回臨時会〕

平成十七年第四回臨時会は、十一月十四日に開かれ、「職員の給与に関する条例一部改正の件」、「専決処分の承認を求める件」の議案二件を原案どおり可決ならびに承認しました。

〔第四回定例会〕

平成十七年第四回定例会は、十二月七日から二十七日までの二十一日間にわたって開かれました。

この定例会では、閉会中の継続審査の取り扱いとなっていました平成十六年度一般会計、特別会計および企業会計決算議案十九件を原案どおり認定ならびに可決するとともに、補欠選挙（松元選挙区）で当選した議員一人の常任委員の選任および特別委員の補充選任を行いました。

また鹿児島市スブランド裸・楽・良など公の施設四十七施設の指定管理者を指定する件をはじめ障害者自立支援法の施行に伴う準備経費を含む「平成十七年度鹿児島市一般会計補正予算（第四号）」、「環境未来館（仮称）の建設用地を取得する「土地取得の件」など議案七十件をいずれも原案どおり可決ならびに同意しました。

このほか「社会保障制度の抜本改革を求める意見書」、「耐震強度偽装問題への対応に関する意見書」、「甘しょ・でん粉政策・価格に関する意見書」の三件の意見書を可決しました。

可決・同意された主な議案の要旨

〔第四回臨時会〕

職員給与に関する条例一部改正の件
一般職の国家公務員の給与に関する人事院勧告の内容に準じて、給料月額、扶養手当および勤労手当の額の改定を行うとともに、平成十七年十二月に支給される期末手当に関する特例を設けるもの

〔第四回定例会〕

公の施設の指定管理者の指定に関する件（四十三件）

◎スブランド裸・楽・良など公の施設四十七施設の指定管理者を指定するについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

- 指定管理者制度を導入する四十七施設
スブランド裸・楽・良、乳児院、児童センター（城南・三和・郡山）、高齢者福祉センター（与次郎・東桜島・谷山・桜島・郡山）、喜入老人憩の家、すこやかランド石坂の里、心身障害者総合福祉センター、知的障害者福祉センター、吉田福祉センター、軽費老人ホーム谷山荘、夜間急病センター、精神保健福祉交流センター、職業訓練センター、勤労者交流センター、大島線のり張りセンター、維新ふるさと館、国民宿舎レインボー桜島、桜島マグマ温泉、かごしま水族館、かごしま健康の森公園、清滝川通り路上駐車場、市営自転車等駐車場（中央駅東口・中央駅西口・東千石・山之口）、科学館、鴨池公園野球場・広場・テニスコート、鴨池公園多目的屋内運動場、鴨池公園水泳プール、市民体育館、郡山総合運動場、東開庭球場、かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館、勤労青少年ホーム、南洲公園西郷南洲顕彰館、集会所（小松原一丁目・中福良、勤労婦人センター）、市民文化ホール、谷山サザンホール
- 鹿児島市屋外広告物条例一部改正の件
屋外広告物法の一部改正に伴い、屋外広告業の届出制を登録制に改めるとともに、条文の整備をするもの
- 製造委託契約締結の件
鹿児島市立科学館プラネタリウム機器更新業務委託契約を締結するについて、議会の議決を求めるもの
- 美術品購入の件
美術館に収蔵する絵画（作者名・ジョルジュ・ルオー、作品名・聖顔）を購入するについて、議会の議決を求めるもの
- 鹿児島市個人情報保護条例一部改正の件
公の施設の指定管理者に対する個人情報保護措置の義務付け等に関する規定を整備するもの
- 土地取得の件
城西二丁目の土地を環境未来館（仮称）の建設用地として取得するについて、議会の議決を求めるもの
- 人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
山科千恵子氏・松田潤子氏
田中絹代氏・吉原嵩雄氏

個人から 質疑

第4回定例会では17人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介いたします。質疑者は次のとおりです。

山下ひとみ	議員（日本共産党）
片平孝市	議員（市政クラブ）
竹原よし子	議員（日本共産党）
田中良一	議員（自由民主党）
赤崎正剛	議員（自由民主党）
奥山よしひろ	議員（自由民主党）
崎元ひろのり	議員（公明党）
平山たかみ	議員（日本共産党）
森山さよみ	議員（社会民主）
井上剛	議員（市政クラブ）
のぐち英一郎	議員（無所属）
ふじた太一	議員（市民クラブ）
竹下たかはる	議員（平成の会）
大園盛仁	議員（平成の会）
北森たかお	議員（社会民主党）
平山哲	議員（自由民主党）
小川みさ子	議員（無所属）

マリノポートがごしま建設の問題点

問 今回示された県のマリノポートがごしまの整備方針は、当初の整備計画から大きく変更されている。今後、港湾審議会や市議会での議論も必要になると思うが、本市の考え方は。

答 今回の県の整備方針では、これまで港湾計画等で計画されていた土地利用が大きく変わっていることから、当初計画との相違点を精査し、その理由や考え方等について県に聞いた上で、市議会とも相談しながら本市の考え方をまとめ、県へ意見あるいは要望として申し上げたい。現在の港湾計画では国際会議場等の整備個所の土地利用区分は交流拠点となっており、この区分が変更になれば港湾計画の変更となり、港湾審議会の意見を聞く必要があると考えている。また埋立地の用途等に変更があれば、公有水面埋立免許の変更が必要となり、用途の変更については市議会の議決が必要であると考えている。

市長就任一年の評価と今後の決意

問 市長に就任して一年を迎える。この一年間の評価と今後の決意は。

答 市長に就任してこの一年間、市政の推進に当たっては、市民との対話、パートナーシップを大切にした「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、「新生鹿児島市の総合力を生かしたまちづくり」など四つの重点政策を掲げ、その実施に向けて取り組んできたところである。また第四次総合計画の改訂、平成十八年度から二十年度までの実施計画の策定など、市政運営の基本的な指針の策定などにも力を注いできたところであり、この間議会をはじめ市民の皆様方のご理解とご協力により、市政は確かな歩みを進めつつあるのではないかと考えている。これからの三年間については、本市が二十一世紀に飛躍する礎を築く上で極めて重要な期間であり、市政発展のために持てる力と情熱のすべてを傾注してまいりたいと決意を新たにしているところである。

交通不便地区の解消

問 平成十八年度から二十年度までの実施計画に盛り込まれた交通不便地区解消に向けた取り組みの考え方と今後の対応は。

答 合併後の市域の中で、公共交通が不便と思われる地域の公共交通サービスの在り方を検討したいと考えている。現在、他都市の先進的な取り組み状況等を調査しており、来年度以降、全市的に公共交通の運行状況や交通が不便と思われる地域の住民ニーズなどを調査する中で、先進事例等も参考にしながら、有効な施策について検討していきたい。

行財政改革の推進

問 昨年十一月に行財政改革推進委員会から提出された「行財政改革に関する提言」を受けて今後、行財政改革にどう取り組んでいくのか、市長の決意は。

答 同委員会からの提言には、市役所全体の意識改革や民間力の活用の推進などが盛り込まれており、それらを最大限尊重しながら行財政改革大綱を策定し、速やかに改革を推進することが



行政改革推進委員会からの提言

市民文化ホール等の指定管理者制度導入後の文化事業

問 市民文化ホールと谷山サザンホールの指定管理者制度導入後の自主文化事業および新たな文化事業についての考え方は。

答 自主文化事業は低廉な料金で質の高い催し物を開催し、市民の芸術文化の向上に大きな役割を果たしてきたと考えており、同制度の導入後も継続する必要があると考えている。また両ホールの指定管理者となる市民文化ホール管理公社からは、「市内の文化団体等の舞台芸術活動を支援するため、関係団体と文化事業の共同開催を行い、地域文化の振興に努める」との提案がなされ、これまで公演する機会に恵まれなかった団体・個人と共同企画での公演開催により、発表の場を提供することが計画されている。

地域における安心安全の取り組み

問 子どもが被害者となる痛ましい事件への対応としてパトロール車による防犯パトロールなど地域の取り組みが急がれる。本市における取り組みは。

答 パトロール車による地域組織の活動は、町内会や防犯パトロール隊など二十団体が実施しており、犯罪等の多発地域や少年等のたまり場となりやすい公園・空き地等のパトロール、児童等の登下校時の通学路等における見守り活動と声かけなどを行っている。

粗大ごみの発生抑制とリサイクル

問 収集量が増加している粗大ごみの発生抑制とリサイクルへの本市の取り組みは。

答 モノを大切に使い、再使用できるものは再使用していくという循環型社会の構築に向けて、広報啓発に取り組みとともに、平成二十年度に開館予定の環境未来館（仮称）をリユース・リサイクル活動の実践施設として検討している。また粗大ごみのリサイクルについては、十九年度に稼働する新北部清掃工場内の粗大ごみ処理施設で破碎処理などを行い、可燃性ものは焼却処理し、鉄やアルミは回収して資源化することとしている。

高次脳機能障害の啓発と支援

問 交通事故や脳卒中などに脳に損傷を受けて生じる記憶障害、失語症等の高次脳機能障害は一見してその症状を認識することが困難であり、社会的認知度も低い。同障害への理解を深めるための啓発の取り組みと支援策は。

答 同障害の啓発については、医師や作業療法士等により設立された高次脳機能障害者支援推進委員会が開催する研修会の案内や同委員会発行の冊子「市民のための高次脳機能障害」を保健所、各保健センター、各保健福祉課の窓口配布するなどの取り組みを行っている。また支援策としては、保健所において個別相談に応じているが、現在国で支援方策の検討がなされており、その状況を見ながら対応したいと考えている。

観光未来戦略 桜島を活用した観光戦略

問 滞在型観光客の増加につながる桜島を活用した観光戦略についての本市の考えは。

答 現在策定中の観光未来戦略では、桜島は自然、歴史、景観、産業など多種多様な資源を有していることから、桜島全体を一つのフィールドミュージアム、野外博物館としてとらえた整備・活用を図るとしている。今後、県、地元住民やNPO団体なども連携を図り、自然公園法などを踏まえながら、桜島の一体的な観光振興策を検討していきたいと考えており、その中で滞在型観光の推進についても考慮していきたい。

合併後の救急活動

問 合併後の旧五町域における救急活動の課題と今後の取り組みは。

答 一部の地域において、通報を受けてから現場に到着するまでの時間であるレスポンスタイムが当初予想を上回っているが、本年四月に松元・郡山地域の消防拠点を発足させることにより、両地域のレスポンスタイムの短縮が図られるとともに、隣接地域においても相乗効果が期待できるものと考えている。



新北部清掃工場（完成予想図）

風しんと麻疹の予防接種の変更

問 本年四月から風しんと麻疹の予防接種が混合ワクチンによる二回接種となることから、現行の単独ワクチンの未接種者の多くが新制度の対象外となり、自己負担が生じることになる。本市の未接種者への対応は。

答 新制度の対象外となる未接種者に本年度内に接種していただくよう、市民のひろげ等による広報をはじめ、市内の幼稚園、保育園等の児童の保護者に対する啓発などを行ったほか、個別通知により早期の接種を勧める予定である。

障害者自立支援法施行 新制度スタート

問 本年四月から障害者自立支援法が施行される。制度の変更点と本市の準備状況は。

答 同法によりこれまで大きく変わる点は、①身体・知的・精神の三障害で異なっていた福祉サービスを一元化すること、②原則一割の利用負担となること、③国の財政責任が明確化されたことなどである。同法の施行に伴い、規則等の改正や利用者負担額の見直し、利用者・事業者への広報、審査会の設置などさまざまな準備業務があることから、本年四月から新制度の業務を円滑に行うことができるよう、関係部署が一体となり取り組みを進めている。

（次頁上段へつづく）

耐震強度偽装問題

問 耐震強度偽装問題についての市長の見解は。

答 今回の問題は地震国であるわが国が、過去に経験した幾度も震災の教訓を安全なまちづくりを生かしてきた実績を無にする行為であるとともに、建築確認行政に対する国民の信頼を失墜させた意味からも、非常に遺憾なことであると同時に怒りを感じている。

今回の問題を十分に踏まえ、本市の建築確認行政においては今後とも適正・適格な審査を行うようあらためて担当部局に指示するとともに、県や関係都市と連携して法や制度の改正を関係機関に強く要請していきたい。

鹿児島玉龍中学校の特別講座

問 本年四月に開校する鹿児島玉龍中学校において検討している土曜日または長期休業中の特別講座の内容は。

答 同校において実施する特別講座は教科書を用いた授業を進めるのではなく、例えば豊かな体験をさせるため、地域の人材を活用した講義や、科学館や美術館などの専門職員の指導による体験的な学習、地域行事への参加などを考えている。なお、回数は玉龍高校と同じ月二回程度を想定している。

潮見橋の現地保存

問 木之下川の改修に当たり、潮見橋を現地に残す検討は。

答 木之下川改修事業の全体計画書では、松林寺橋から和田



旧議場でのコンサート

川と木之下川の合流点までの区間は、計画高水流量毎秒二百三十五トを安全に流下させるために、河道の拡幅等に対応することになっている。仮に潮見橋を現地に残すとした場合、同橋の現況下能力が約百三十トであるので、現況河川と同程度の新たな河川が必要となり、そのための用地問題、周辺の土地利用等から、地域が分断される等の社会的影響が大きいこと、経済的問題など極めて厳しい状況にあることから、同橋の架け替えを行うこととしたものである。

芸術家派遣プロジェクト事業の拡充

問 小中学校や五支所の旧議場を活用して開催し、好評を得ている芸術家派遣プロジェクト事業を地元芸術家団体等との協働でこれまで以上に地域社会に拡充すべきと考えるが、見解は。

答 同事業は、市民には生で芸術を鑑賞する機会を、芸術家には発表の機会をそれぞれ提供していることから、本市の文化活動の活性化に寄与していると考えている。

これからも本市の芸術家団体等との協働を一層進めるとともに、会場やメニューをさらに工夫し、地元でじかに芸術文化に触れることができるよう取り組みを進めていきたい。

おいしい水づくりへの取り組み

問 本市の水道水の安全性確保とおいしい水づくりのためにどのように取り組んでいるのか。

答 安全性の確保には、河川水などの原水から給水栓水に至るまでの一貫した水質管理を行うことが最も重要であると考えており、水道法に基づく水質基準項目や本市独自の検査項目など約百八十項目に及ぶ水質検査を実施している。

またおいしい水づくりの取り組みとして、水道水の不快感の主原因となる塩素臭を抑えるため、消毒剤の注入量の適正管理、古くなった水道管の計画的な取り換え、ビル・マンション等で受水槽を通さず直接給水できる直結増圧式給水の普及拡大などに取り組んでいる。



決算審査から

女性政策への取り組みとその成果

問 女性政策課設置十年という節目に当たる平成十六年度の取り組みとその成果は。

答 同課の大きな課題として、「男女共同参画の理念の浸透」、「政策方針決定過程への女性の参画」、「女性に対する暴力への取り組み」があり、その中で特に講座、イベント等への女性の参加者の増、審議会等への女性委員の登用率の向上およびDV(配偶者等からの暴力)に関する啓発と相談機関との連携に取り組んだところである。

その結果、講座等への女性の参加は講座の内容、時間等を工夫したものの特に変化は見られなかったが、審議会等への女性委員の登用率については、十六年度末で二十七・九割と前年度末比一・八割の増となり、成果があったと考えている。またDV対策については、男性、女性等の対象別の講座をはじめ実施するとともに、パンフレット等の作成に取り組んだところである。こうした取り組みによるDVに関する認識の浸透が、暴力のない社会形成につながっていくものと考えている。

委員会から

精神保健福祉交流センターの指定管理者

問 本年四月に開設する精神保健福祉交流センターの指定管理者の選定理由は。また施設運営に当たり、利用者の意見を取り入れるための対応について本市の考え方は。

答 同センターの指定管理者の公募には、三団体から応募があった。選定した団体の管理運営費の提案額は最低額ではなかったが、社会的ひきこもりやニート(若年無業者)等多様化した市民のメンタルヘルス問題に取り組みするための専門職員を雇用する計画であること、多くの利用が見込まれる土、日、祝日に

成する中で、必要になってくるものと考えている。

新議員の紹介

平成17年12月11日に行われた鹿児島市議会議員補欠選挙(松元選挙区)において選出された議員を紹介します。

氏名：和田 幸一(51)
所属党派：自由民主党新政会
住所：上谷口町814番地
当選回数：1回
職業：会社役員
所属委員会：民生環境委員会
九州新幹線に係る諸問題を調査検討する特別委員会



職員を多く配置するなど職員配置計画が適切であったことなど総合的に見て他の二団体より優れていたと判断したところである。

また運営に当たっては、利用者の意見も十分反映させながら、同センターの所期の目的が達成されるよう指定管理者とも十分協議を行って対応していきたい。

地下壕事故に係る諸課題を調査検討する特別委員会の調査報告

昨年4月9日に起きた武岡の地下壕での痛ましい事故を受けて、市議会ではこの事故を教訓とし、再発防止という観点から、地下壕の実態把握や事故の再発防止策、国の補助制度の見直し等の諸課題について調査検討を行い、関係当局への意見反映をはかるため、平成17年4月26日に「地下壕事故に係る諸課題を調査検討する特別委員会」を設置しました。

同特別委員会では、委員会設置以降、各面から集中的かつ総合的に調査検討を行うとともに、7月には国の特殊地下壕対策事業の採択要件の緩和などの制度改正について関係省庁および県関係国会議員に要望活動を行うなど、全国的にも先導的かつ大きな役割を果たしてきました。

同特別委員会におけるこれまでの調査により、当局からは

- (1) 本市内には1,055カ所の地下壕の存在が確認され、一部については事故防止の措置がとられたこと
- (2) 校区ごとに校区環境点検マップを作成するとともに、安全・事故防止等の指導計画例を取りまとめ、各学校等のほか関係機関に送付し、事故の未然防止に努めたこと
- (3) 今回の事故の教訓を踏まえ、排煙のための消防資機材の能力を高め、排煙活動体制の充実強化を図る観点から、大型の可搬式送排風機3台を購入したこと
- (4) 国の平成18年度予算案においては、特殊地下壕対策事業の採択要件の緩和などの制度改正については認められなかったものの、当局としては、18年度の本市独自の対策について検討を進めるとともに、国の制度改正についても引き続き要望していく意向が示されたこと

などの調査結果や対応等が示されました。

このような調査経過を踏まえ、地下壕事故に係る諸課題を調査検討する特別委員会においては、その所期の目的はおおむね達成されたと判断し、12月27日をもって調査を終了しました。

可決された意見書の要旨

●社会保障制度の抜本改革を

すべての国民が生涯を通じて安心して暮らせるように年金問題等社会保障制度の抜本改革を早急に実施されるよう強く要請するため「社会保障制度の抜本改革を求める意見書」を提出します。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣

●耐震強度偽装問題の全容解明と実効ある再発防止策を

構造計算書偽装問題の全容解明と責任の明確化を図り、実効ある再発防止策を講じるとともに、住民に対する相談・支援体制の充実や必要な法制度の見直しを行い、建築物の安全性に対する住民の不安を解消し、建築行政に対する信頼回復を図るよう強く要請するため「耐震強度偽装問題への対応に関する意見書」を提出します。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣

●甘しょ・でん粉に関する諸施策の実現を

甘しょおよびでん粉生産の維持・増大と生産者の経営安定を図るための諸施策の実現がなされるよう強く要請するため「甘しょ・でん粉政策・価格に関する意見書」を提出します。

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、総務大臣

議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対
※賛成・反対双方あり

Table with columns for item name (件名), political parties (自由民主党, 自由民主党, 社会民主党, 公明党, 市政クラブ, 市民クラブ, 日本共産党, 平成の会, 無所属A, 無所属B, 無所属C), and results (結果). Rows include various council resolutions and motions.

Table listing council members (議員名) and their respective political parties (会派名等). Includes members from 自由民主党, 自由民主党, and 社会民主党.

市議会からのお知らせ

海外行政視察の報告

鹿児島市議会では、「全国市議会議長会米国・カナダ都市行政調査団」、「全国市議会議長会代表中国友好訪問団」、「九州市議会議長会欧州視察研修団」、「鹿児島市観光交流訪問団（長沙市訪問）」、「鹿児島市友好親善訪問団（ナポリ市訪問）」に議員を派遣しました。

【閲覧できる場所】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民プラザ、地域公民館、地域福祉館、市立図書館、サンエールがごしま、勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、吉田福祉センター、県立図書館

市議会だよりの点字版・音声版を発行しています

目の不自由な方々に市議会の活動を知っていただくために、市議会だよりの点字版・音声版（カセットテープ）を発行しています。配布を希望される方は、市議会事務局政務調査課 ☎099-216-1454（直通）までご連絡ください。

柿迫重己議員逝去

市議会議員 柿迫重己氏は、去る平成十七年十月二十七日逝去されました。満四十八歳。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

